

## 第二次長野市環境基本計画後期計画 平成 30 年度前期の取組について

### 1 趣旨

長野市環境マネジメントシステム（NEMS）マニュアルに基づき、第二次長野市環境基本計画後期計画（以下「後期計画」という。）の進捗状況を管理するため、後期計画に掲げる指標の目標値の達成状況及び監視項目の平成 30 年度前期の進捗状況を把握するとともに、エネルギー使用量を一元的に管理し、省エネ法・温対法等へ対応し、エネルギー使用量削減及び地球温暖化対策に向けての基礎資料とする。

### 2 指標・目標値の達成状況

後期計画において 6 の基本目標の達成状況を図るために、22 の指標・目標値を設定した。

＜目標値の達成状況＞

平成 30 年度目標値に対する平成 30 年度前期の目標値達成状況は、次のとおり。

指標・目標値の進捗概況

		目標値数等	
指標数		22	
目標値数		22	
平成 30 年度 前期進捗状況	(内訳)	達成	5
		順調	6
		年度末算定	11

### 3 監視項目の進捗状況評価

後期計画の 155 の施策（取組）を監視項目として位置付け、その進捗状況の評価を行う。

＜監視項目の進捗状況＞

各対象所属が進捗状況について評価した結果は、次のとおり。

監視項目の進捗概況

		監視項目数等	
進捗評価等		監視項目数	
監視項目数		155	
評価 内 訳	順調	72	
	概ね順調	48	
	遅れ気味	6	
	遅延	0	
	年度末算定	29	

## 4 エネルギー使用量

### (1) エネルギー使用の報告

市が所有する公共施設（庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など：1,422 施設）において使用する電気、ガス、灯油等と、庁用車（581 台）において使用するガソリン、軽油等について、施設等を管理所管する所属から報告を受け集計を行った。

- ① 市有施設のエネルギー使用量の報告対象所属：57 所属（15 部局等）
- ② 庁用車エネルギー使用量の報告対象所属：56 所属（15 部局等）

### (2) エネルギー使用量の状況

(1) における平成 30 年度前期エネルギー種類別使用総量（原油換算）については、次のとおり。

#### ① エネルギー使用量

エネルギー使用量(前年度比)は、+584 kℓ、4.8 %の増加

エネルギー種類別 平成 30 年度前期使用量及び前年度前期対比（原油換算）

種 類 別	平成 30 年度前期 報告使用量	平成 30 年度前期 (原油換算 kℓ)	平成 29 年度前期 (原油換算 kℓ)	前年度比(kℓ)、比率	
電 気	37,386Mwh	9,861	9,616	245	+2.5 %
都市ガス	1,314,414 m <sup>3</sup>	1,828	1,462	366	+25.1 %
プロパンガス	73,058 m <sup>3</sup>	182	191	△9	△4.5 %
ガソリン	227kℓ	200	203	△3	△1.4 %
灯 油	587kℓ	549	556	△7	△1.3 %
軽 油	97kℓ	85	94	△9	△9.8 %
A 重 油	138kℓ	140	139	1	+0.3 %
合 計		12,845	12,261	584	+4.8 %

※電気・都市ガスの主な増加理由：サンマリーンながの稼働によるもの（H30.3～）

【参考】特殊要因のサンマリーンながのを除いたエネルギー使用量の状況  
(原油換算)

H29 12,261 kℓ → H30 12,215kℓ △46kℓ (△0.4%)

#### ②種類別エネルギー使用量 対前年度比

種類別エネルギー使用量 対前年度比(%)

